

くまブザー

熊出没通知アプリ

知らせ合いで、お互いを守ろう。



くまブザー運営チーム
(ボランティア団体)

目次

01 背景、社会課題

02 ソリューション

03 プロジェクトの概要

04 利用シーン

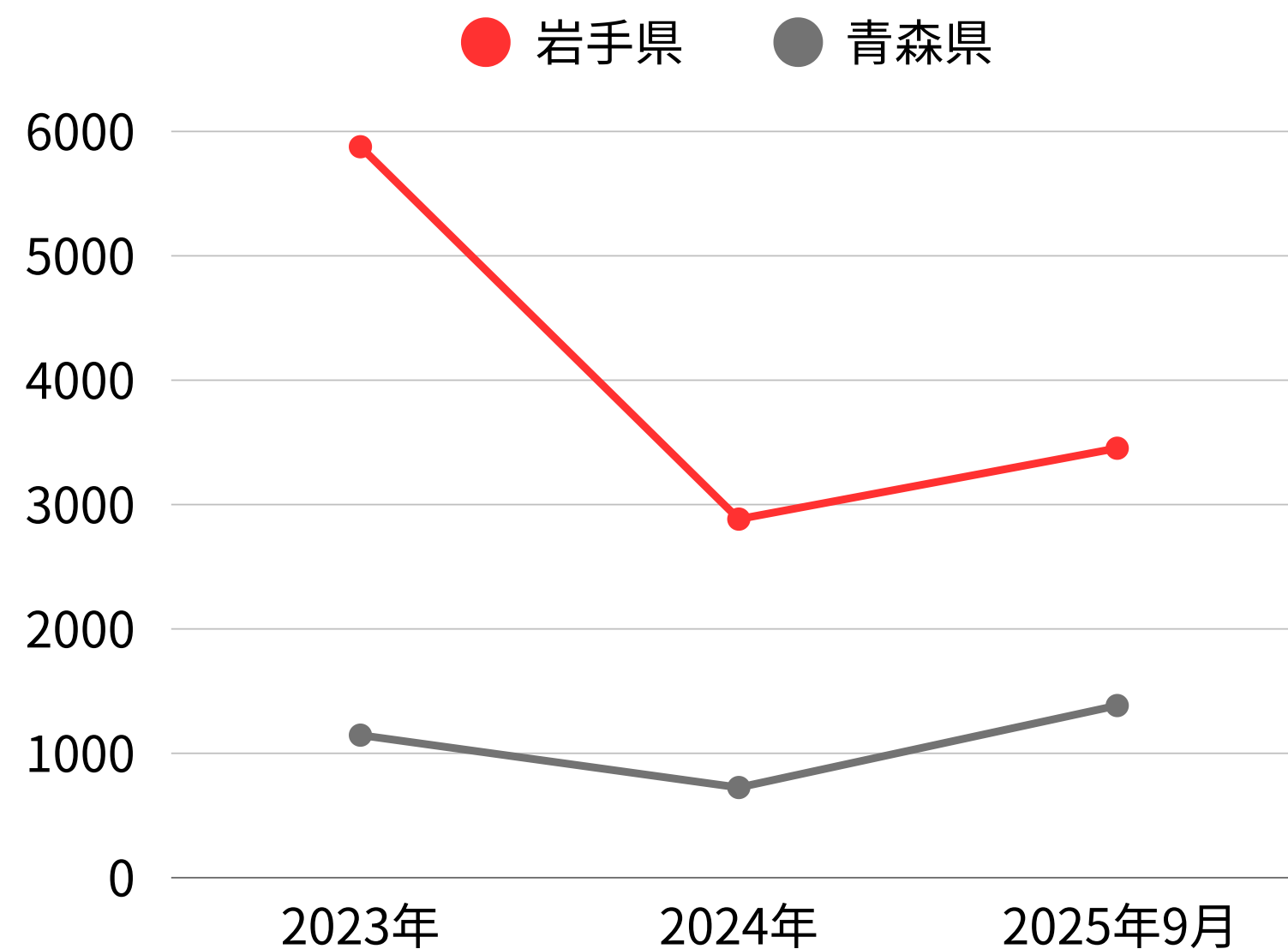
05 本アプリについて

06 想定インパクト

07 今後の展開

【 背景、社会課題 】

昨年度は、熊出没件数が過去5年間で最多。



2025年9月時点での熊出没データ（環境省）

【 背景、社会課題 】

熊出没情報の即時性、信頼性、拡散力は、ときに命に関わる問題です。

既存の通報手段は、電話、行政メール、SNS等。



電話 → 正確で即時性があるが、拡散力がない。

SNS → 拡散力が高いが、信頼性が低い。

行政メール → 正確・広報的だが、即時性に欠ける。

【 背景 】

背景

- 通報がSNSや電話、メール頼りで、遅い／全員にすぐ届かない。
- 住民間で、熊を「見た」「聞いた」を簡単に共有し、二次災害を防ぐしくみ。

【ソリューション】

- ① 熊目撃をアプリを通し、即通報可能。
- ② 通報場所の近隣ユーザーのみに、
1秒以内にプッシュ通知。（ロック画面でも）

プロジェクトの特徴

01

即近隣通知

通報があった周辺（半径約5km以内）のユーザーへ、最短1秒以内でプッシュ通知します。

02

ロック画面通知

アプリを開いていなくても、近くでの熊出没の通知がとどきます。

03

簡単操作

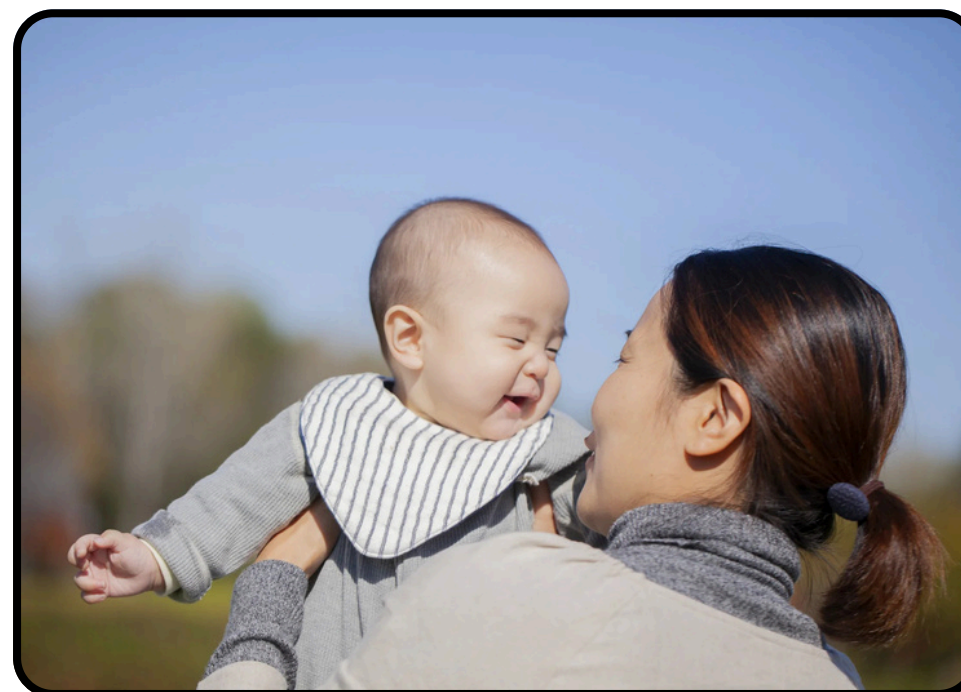
高齢から子供の方でも、使えるような簡単な操作です。
ログイン不要。

【 利用シーン例 】



通勤、通学

.....
通知を受けてすぐに下校時間の変更等、次被害を防止します。



外出時

.....
外出時、熊出没通知地点を瞬時に把握し、安全な行動を取れます。



登山中

.....
周辺情報をチェックし、目撃通知が届いたら、すぐに避難行動を取れます。

【 本アプリについて 】



【 想定インパクト 】

本アプリの導入で、期待する既存通報手段からの変化。

	Before	After
通知までの時間	数分 (行政による事実確認の後)	約1秒

【 今後の展開 】

くまブザー認知の拡大。

- 市町村と連携し、自治体の皆様のフィードバックとともに、より熊出没が考えられる地域に導入していきたいです。(また、「信頼性」の部分を自治体のご協力の元、上げていきたいです。)
- クラウドファンディング、地域イベントへの参加やYoutube広告などで、アプリ認知の拡大を図ります。
- また、オンラインコミュニティ等を利用して、その認知度を高めていきます。

ボランティアとしてのサービスの継続。

- 自分たちはあくまで、ボランティアとして、お世話になった地域（特に岩手県、東北地方）に貢献していく。

閲覧ありがとうございました!



くまブザー運営チーム
harukikuriwada@gmail.com



公式ウェブサイト
<https://www.kumabuzzer.org>